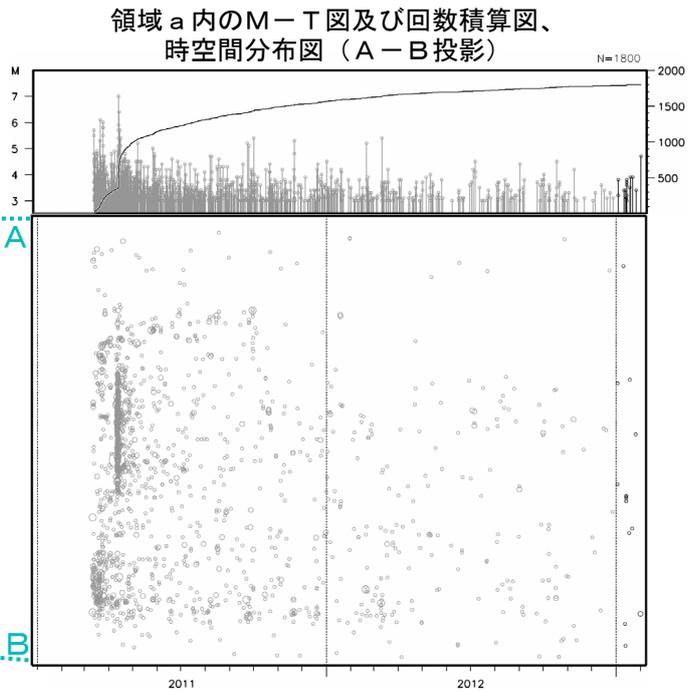
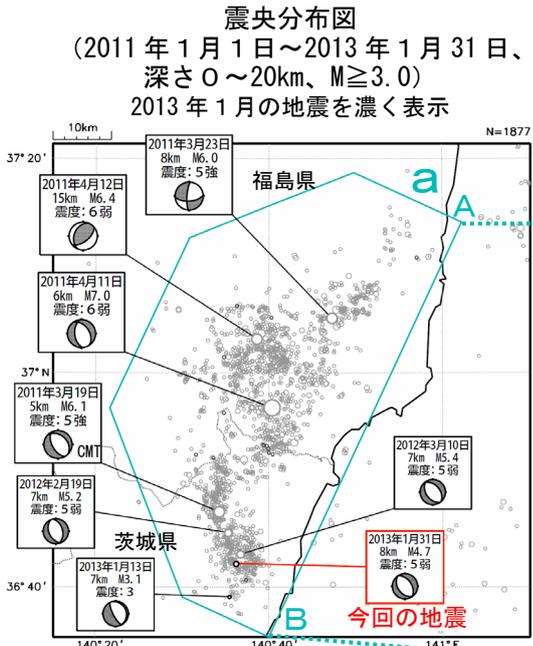


# 1月31日 茨城県北部の地震

2013年1月31日23時53分に茨城県北部の深さ8kmでM4.7の地震（最大震度5弱）が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構は北東-南西方向に張力軸を持つ正断層型である。

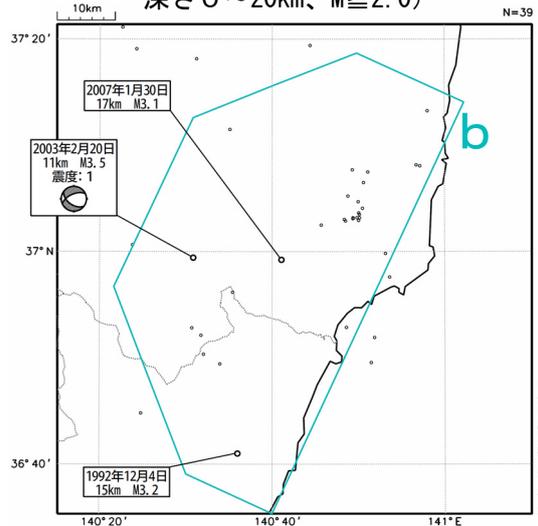
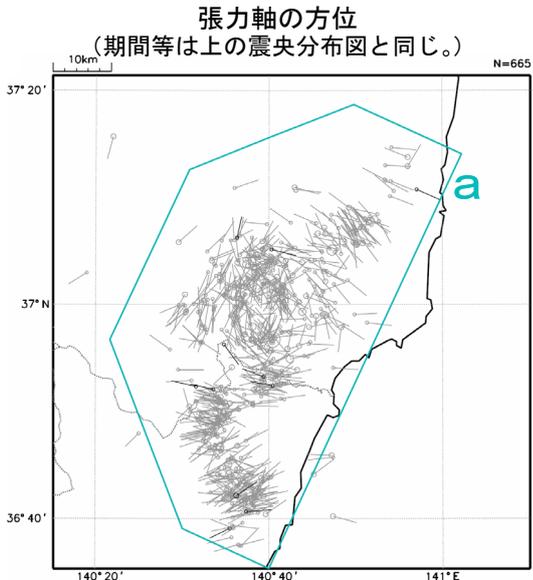
福島県浜通りから茨城県北部にかけての地殻内（領域a）では、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」の発生後に活発な地震活動が発生した。活動は全体として低下してきており、震度5弱以上を観測した地震が発生したのは2012年3月以来である。この地震活動で発生している地震は正断層型の発震機構を持つものが多い。張力軸の方向は場所によって異なるが、今回の地震の震央付近では概ね北東-南西方向を向いている。

1991年から東北地方太平洋沖地震発生前までの活動を見ると、この地域ではM3.0以上の地震はほとんど発生していなかった。発震機構の決まっている地震が1つあり、その地震の震央付近で現在発生している地震と同じような型である。



M6.0以上の地震と2012年に降に震度5弱以上を観測した地震、2013年1月に震度3以上を観測した地震に吹き出しをつけた。

**震央分布図**  
(1991年1月1日～東北地方太平洋沖地震発生前、深さ0～20km、M $\geq$ 2.0)



**領域a内の地震の発震機構の型**

